

じょうえつ市議会だより

2026
令和8
冬号

No.230 12月議会

3月 6月 9月 12月



-  Topic_01
市民×議員
意見交換会を開催
... 2ページ
- Topic_02
補正予算等を審議
12月定例会
... 4ページ
- Topic_03
市議補欠選挙の結果
... 20ページ



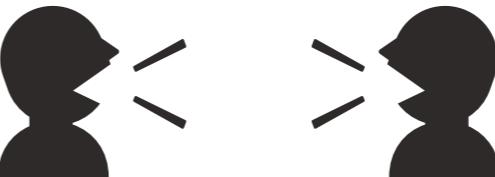
上越市議会
ホームページ



意見交換会を開催しました

市民 & 議員

citizen councilor



オンラインで開催した意見交換会の様子

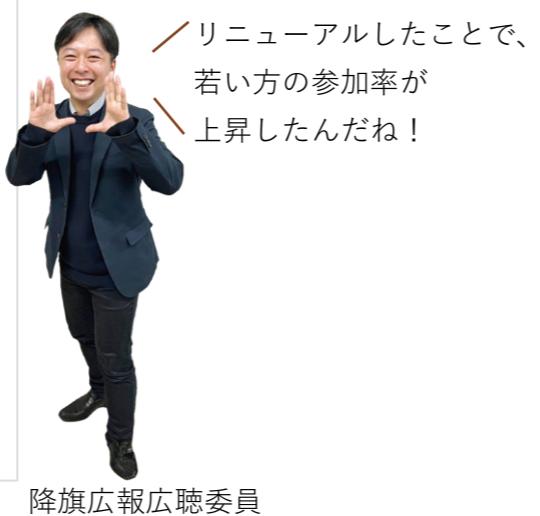
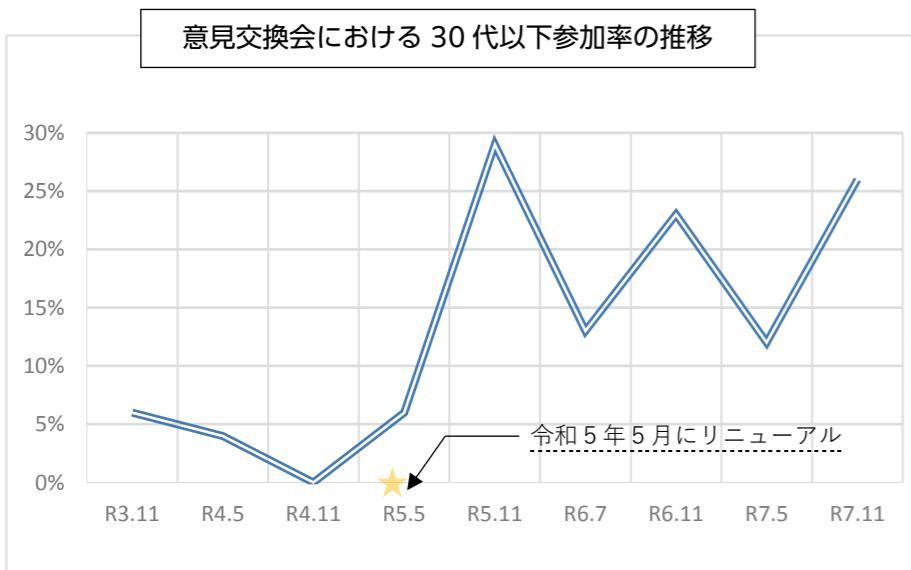
11月6日・7日に「ご意見を聞く会」、8日に「議員と気軽にトーク」を開催し、28名の市民の方から参加いただきました。議員と気軽にトークは、会場に出向くことが困難な方でも参加できるよう、上越市議会初のオンラインで開催しました！

「ご意見を聞く会」と「議員と気軽にトーク」は何が違うの？

◎ご意見を聞く会
議員が地域に出向き、地区の公民館等でご意見を伺います。上越市内の各区を4年間で回っています。

◎議員と気軽にトーク
議員が商業施設等の人の集まる場所に出向き、ご意見を伺います。オンラインも含む様々な形で意見交換を行っています。

西沢広報広聴委員



- SNSでの情報発信**
- SNSで観光やイベントなどを紹介しているが、もっと発信してほしい。上越市の魅力をもっと発信すれば、若い人も来てくれると思う。
- 産後ヘルパーの対象拡大**
- 良い制度があつても学生が知る機会がない。広報誌やホームページを見ると理解ないので、周知の工夫が必要ではないか。要だと思う。
- 奨学金返済支援制度の周知**
- 議員は積極的に地域協議会を傍聴するなど、地域に寄り添ってほしい。
- 地域協議会の積極的な傍聴**
- 議員は積極的に地域協議会を傍聴するなど、地域に寄り添ってほしい。

当市議会では、災害などの非常事態が発生しても迅速に活動できる議会を目指し、議会改革を進めています。ご意見を聞く会では、議会改革推進特別委員会の山田委員長が、改革の成果を報告しました。

【議会改革の成果】令和8年度から、ここが変わります！

Point 01 通年会期制

- 1年を通じて、いつでも議会を開催できる状態になります。
- 議会は、これまでの市長が招集する形から、議長が主体的に開催する形になります。
- 災害や異常気象、物価高騰などの市民生活に直結する緊急的な問題に対しても、素早く対応することができます。

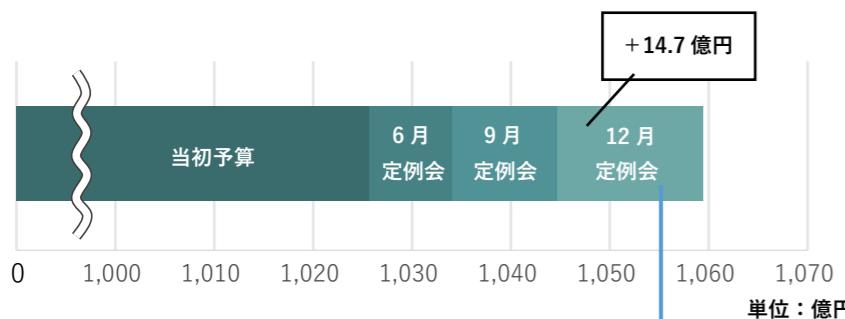
Point 02 オンライン委員会

- 委員等が市役所に参集することが困難な場合でも、インターネットを通じて委員会に参加できるようになります。
- 【市役所に参集することが困難な場合とは】
 - 大規模な災害の発生
 - 育児、介護など

12月定例会

3・6・9・12月に開催される定例会のうち、12月定例会の内容をお届けします。12月定例会は、主に今年度の当初予算に追加や変更を加える補正予算などを審議しました。

令和7年度予算の推移



令和7年度 補正予算等



補正予算など

65 議案等について審議

主な補正予算の項目

渴水に伴う原水確保等に要した経費の一部を水道事業会計へ繰り出し	3億8,368万円
リージョンプラザ上越における経年劣化した動力制御盤等の更新	1億3,783万円
物価高騰による給食食材費の不足分	7,924万円
国県支出金等の還付金の不足分	5,354万円
今夏の渴水に伴う市の温浴施設の無料開放に要した経費に係る指定管理者への補填	3,125万円



補正予算って何？



何らかの理由で当初予算を増額・減額するときに、組まれる予算のこと

渴水に伴う市の温浴施設の無料開放に要した経費を指定管理者に補填する補正予算が提案されました。

●補正額：3,125万円

■ 議員のQ & 市のA ■

Q 温浴施設の無料開放について、あらかじめ予算措置をせず、実績に基づく補正予算とした理由は何か。

A 実施期間や利用人数が見込めなかつたことや、当面は資金面を含めて施設の運営上問題がなかったことから、実績により精算することとしたものである。

Q 渴水対策に効果はあったのか。

A 断水を回避する手段として、一定の効果があったと考えている。

議員の Q & A

総括・委員会質疑

議会は議案のココに注目！

point
01

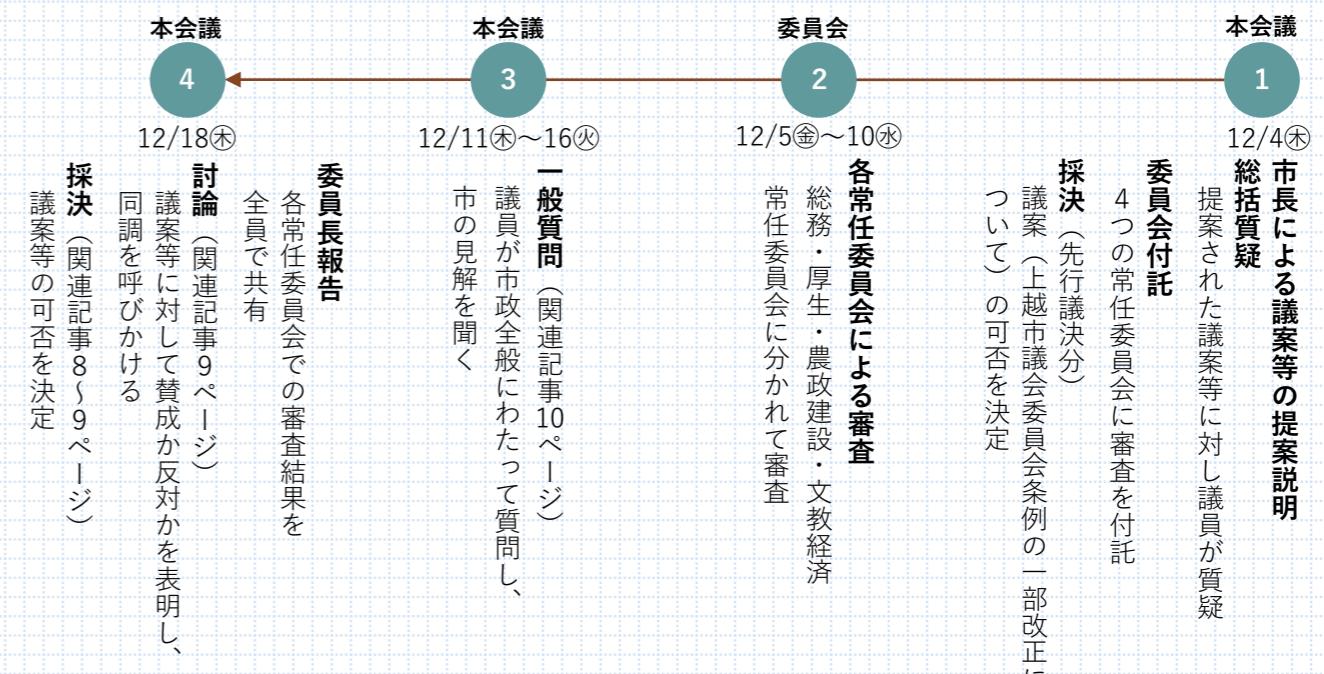
温浴施設の無料開放に要した経費の補填

«無料開放を実施した施設、利用人数及び補填額»

施設名	利用人数	補填額 単位:千円
ゆきだるま温泉久比岐野	1,095人	499
大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館	8,356人	4,438
吉川ゆったりの郷	11,295人	6,439
吉川スカイトピア遊ランド	542人	231
牧湯の里深山荘	2,554人	1,177
板倉保養センター	8,386人	4,132
うみてらす名立	13,130人	8,943
上越リゾートセンターくるみ家族園	14,849人	5,390

このほか民間温浴施設からも無料開放にご協力いただきました。
ありがとうございました。

12月定例会の流れ



小菅市長の所信表明

世界情勢が刻々と変化する今日、我が国は人口減少社会を迎え、長引く物価高騰が市民生活や地域経済等に深刻な影響を及ぼしています。加えて、当市においては、医療の再編、災害への備え、地域産業を支える人材の確保、子育てや介護・福祉の充実支援、幅広い世代への多様な学びの推進など、様々な課題に直面しています。

こうした状況の中、公約の実現に向け、「信頼と誠実」を旨とし、市民一人ひとりに寄り添いながら、安心して心豊かに暮らせるまちづくりを推進していきます。そして、輝く上越、誇れる上越、「ここに住んでよかった」と皆が感じられる上越を目指し、一つひとつ着実に市政を前に進めてまいります。

今後の市政運営に当たっては、市民の皆様と共にまちづくりを進めていくよう、丁寧な対話を大切にするとともに、市議会の皆様とは、政策を中心とした、健全で活発な議論を重ねてまいりたいと考えています。



市長就任後、初の議会に臨む小菅市長。
12月定例会初日に行った所信表明の様子は二次元コードからご覧ください。



point
04

都市ガス料金の改定

原料ガス購入価格の改定に伴い、令和8年度から都市ガス料金を改定する条例改正が提案されました。

■ 議員のQ & 市のA ■

Q 料金の値上げにより一般家庭へのガス販売量の落ち込みが懸念されるが、ガスの使用量を伸ばすため、どのような取組を考えているか。

A 来年度100周年を迎える水道事業に関連し、ガス水道フェアとコラボした目新しい事業を計画するなど、一般家庭の利用を維持していきたい。

point
03

リージョンプラザ上越の動力制御盤更新

経年劣化した動力制御盤等の更新に係る経費を増額する補正予算が提案されました。

●補正額：1億3,783万円

●工期：11か月

■ 議員のQ & 市のA ■

Q リージョンプラザ上越のアイスリンクは、工事期間中は使用できないのか。

A 基本的には使用できない状況になるので、関係団体が県内他市のアイスリンクを使えるように働きかけていく。

point
02

公の施設の使用料等の見直し

近年のエネルギー価格高騰等の影響を受け、施設運営に係る維持管理経費が増加していることから、18の公の施設で使用料・利用料金の上限額、開館時間等を見直すための条例改正が提案されました。

■ 議員のQ & 市のA ■

Q 施設を利用する市民の負担を軽減する考えはないか。

A 集会施設や会議室など地域の方が利用する施設は、料金の据え置きや値上がり率を少なくすることを検討している。基本的に市外の方が利用する宿泊施設については、指定管理者との協議において、受益者負担という考え方の中で一定の値上げを設定した。



【上越リゾートセンターくるみ家族園】



区分	単位	上限額※	
		改正前	改正後
浴場	個人	一般	600円
	1人	小・中学生	300円
	団体	一般	480円
	※20人以上	小・中学生	240円

■ 議員のQ & 市のA ■

Q 浴場利用料金の上限額を改定するに至った理由は何か。

A エネルギー価格や労務費の高騰の影響を大きく受け、指定管理者から利用料の改定の要望があったためである。

【上越市立水族博物館】



区分	上限額※	
	改正前	改正後
入館料	1,800円	2,300円
年間入館券	4,300円	5,100円

■ 議員のQ & 市のA ■

Q 値上げにより来館者数に大きな影響が出ると思うが、どのような見込みを立てているか。

A 新たな入館料は全国の公営水族館の平均水準に落ち着くと想定しており、これは指定管理者が増収になると来館者数への影響を検討した結果である。遠方からの来館者の割合が高いことから、平均水準の入館料であれば、来館者数の落ち込みを避けることができる」と捉えている。

<現行料金と改定後料金の比較（税込み）>

区分	改正前	改正後	比較
上越市的一般家庭の平均排除量（18m ³ ）	3,785円	4,131円	346円

A 一度節水をお願いすると、水の使用量が回復するまで数年かかる傾向があるため、有収水量（料金徴収の対象となる水の使用量）の見込みをかなり厳しくして料金改定を行った。

※実際に設定する金額は、上限額の範囲内において市と指定管理者との協議により決定します。

審議結果

◎：全員賛成で可決 ○：賛成多数で可決

議案等名	審議結果	議案等名	審議結果
議案第106号 令和7年度上越市一般会計補正予算（第5号）	○	議案第135号 上越市リフレッシュビレッジ施設条例の一部改正について	◎
議案第107号〃 国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	議案第136号 上越市安塚雪だるま高原条例の一部改正について	◎
議案第108号〃 診療所特別会計補正予算（第1号）	○	議案第137号 上越市大島庄屋の家条例の一部改正について	◎
議案第109号〃 介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	議案第138号 上越市うみてらす名立条例の一部改正について	◎
議案第110号〃 病院事業会計補正予算（第1号）	○	議案第139号 上越市吉川ゆったりの郷条例の一部改正について	◎
議案第111号〃 ガス事業会計補正予算（第1号）	○	議案第140号 上越市牧湯の里深山荘条例の一部改正について	◎
議案第112号〃 水道事業会計補正予算（第1号）	○	議案第141号 上越市柿崎マリンホテルハマナス条例の一部改正について	◎
議案第113号〃 下水道事業会計補正予算（第1号）	○	議案第142号 上越市大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館条例の一部改正について	◎
議案第114号 上越市北陸新幹線上越妙高駅周辺地区における企業等の立地の促進に関する条例の一部改正について	○	議案第143号 上越市吉川スカイピア遊ランド条例の一部改正について	◎
議案第115号 職員の旅費に関する条例の一部改正について	○	議案第144号 上越市板倉保養センター条例の一部改正について	◎
議案第116号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	議案第145号 上越市立水族博物館条例の一部改正について	◎
議案第117号 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	○	議案第146号 上越市地域生涯学習センター条例の一部改正について	◎
議案第118号 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例の一部改正について	○	議案第147号 上越市農業研修センター芙蓉荘条例の廃止について	◎
議案第119号 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	○	議案第148号 市道路線の廃止について	◎
議案第120号 上越市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	○	議案第149号 市道路線の認定について	◎
議案第121号 上越市ガス水道事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	議案第150号 工事施行協定の締結について	◎
議案第122号 上越市水道事業給水条例の一部改正について	○	議案第151号 指定管理者の指定について	◎
議案第123号 上越市下水道条例の一部改正について	○	議案第152号 新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	◎
議案第124号 上越市農業集落排水条例の一部改正について	○	報告第11号 専決処分した事件の承認について（令和7年度上越市一般会計補正予算（専第3号））	◎
議案第125号 上越市浄化槽整備推進事業に係る浄化槽の設置等に関する条例の一部改正について	○	報告第12号 専決処分した事件の承認について（令和7年度上越市一般会計補正予算（専第4号））	◎
議案第126号 上越市液化石油ガス供給条例の一部改正について	○	同意案第5号 上越市監査委員の選任について	◎
議案第127号 上越市ガス供給条例の一部改正について	○	同意案第6号 上越市固定資産評価審査委員会委員の選任について	◎
議案第128号 上越市企業振興条例の一部改正について	○	諮問第8号～第15号 人権擁護委員候補者の推薦について	◎
議案第129号 上越市体育施設条例の一部改正について	○	発議案第8号 上越市議会委員会条例の一部改正について	◎
議案第130号 上越リゾートセンターくるみ家族園条例の一部改正について	○	発議案第9号 上越市議会の会期等に関する条例の制定について	◎
議案第131号 上越市月影の郷条例の一部改正について	○	発議案第10号 上越市議会通年会期制等の導入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	◎
議案第132号 上越市六夜山荘条例の一部改正について	○	発議案第11号 上越市議会会議規則の一部改正について	◎
議案第133号 上越市南葉高原キャンプ場条例の一部改正について	○	発議案第12号 新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けた取組を求める意見書の提出について	◎
議案第134号 上越市菖蒲高原緑地休養広場条例の一部改正について	○	発議案第13号 免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について	◎

人事案件に
同意しました



討論とは、提案された議案等に対して、議員が賛成か反対かを表明するものです。
討論の内容も踏まえて、採決に進みます。

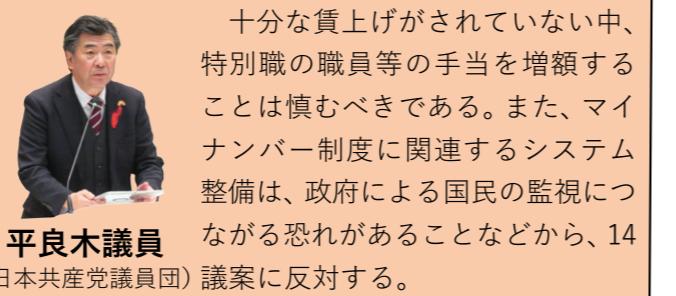
市長提出議案に対して

反対



脱炭素社会に向けた政策の効果検証が不十分なまま、脱炭素住宅推進補助金の増額に一般財源を投入することは慎重さを欠くことから、1議案に反対する。

反対



平良木議員
(日本共産党議員団) 議案に反対する。

賛否が分かれるなどした右表の網かけの議案等について、議員別に賛否等を公表します。

議案等番号	審議結果	合計		久比岐野					市民クラブ					つなぐ			日本共産党議員団		みらい		公明党		参政党		会派に属さない議員						
		賛成	反対	降旗太地	大美香	草和幸	安世	ストラップ	安田	橋本	飯塚	江口	熊倉	山本	中井かおる	高山ゆう	小林和孝	こんどう彰治	本城文	平原留	滝陽	関信	宮崎	平良木哲	牧野	高橋	櫻井	西山	渡辺	伊崎	宮澤
106	可決	26	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
107,112,116～118,120,121,123～127,130	可決	28	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は賛成、×は反対。なお、議長（渡邊隆）は採決に加わらない。

各議員の賛否は次のページをご覧ください。



27 一般質問 人の視点



一般質問とは、議員が市の行政全般にわたって、市長や教育長等に方針・見解・事実の説明・報告などを求めるものです。今定例会では、27人が登壇し、論戦を繰り広げました。その中から一部抜粋して掲載します。

二次元コードを読み取ると、その議員の一般質問の動画を視聴できます。

当市における 鳥獣被害対策は		草間 和幸（久比岐野）
A	Q	
安心安全の確保のための取組を聞きたいたい。	「捕獲対策」、「出没抑制の環境整備」、「人身被害の未然防止や出没時の対応・啓発」といった3つの取組を継続して実施している。	安 心 安 全 の 確 保 の た め の 取 組 を 聞 き た い。
環境部と農林水産部を統合し、鳥獣対策専門の対策室を設けることはできないか。	効果的、効率的に市民の安全を守るため、真摯に検討する。	「 捕 獲 対 策 」、 「 出 沒 抑 制 の 環 境 整 備 」、 「 人 身 被 害 の 未 然 防 止 や 出 沒 時 の 対 応 ・ 啓 発 」と い つ 3 つ の 取 組 を 継 続 し て 実 施 し て い る。



農業の位置付けと将来像の考え方を聞きたい。

農業は重要な基幹産業で、「いのちと暮ら
し」の原点である。担い手の確保、作業の効率
化やコスト低減が肝要であり、特に中山間地で
は、農村の維持という視点から、幅広い担い手
確保を推進する。また、農地集積やスマート農
業技術の導入も積極的に進めていきたい。

卷之三

- Q 橋梁の老朽化の状況とその対策はどうか。
A 市管理の1160橋中、耐用年数の50年を
超える橋梁は390橋あり、10年後には827
橋となる見込みである。平成25年度に策定した
計画に基づき、計画的、効率的な修繕に取り組
んでおり、現在通行止めを要する橋梁はない。

様々な角度から検証していく。

- Q 橋梁の老朽化の状況とその対策はどうか。
A 市管理の1160橋中、耐用年数の50年を
超える橋梁は390橋あり、10年後には827
橋となる見込みである。平成25年度に策定した
計画に基づき、計画的、効率的な修繕に取り組
んでおり、現在通行止めを要する橋梁はない。

市内道路の安全性は

- 当該陥没は主要路線を対象に実施した空洞調査の対象外であったが、覚知後は速やかに復旧工事を実施した。来年度も主要路線の空洞調査の実施を検討しているほか、引き続きパトロールや市民からの通報等により道路状況の把握に努め、適切な維持管理に取り組む。

その後、直江津地区の道路で陥没が発見された

- 当該陥没は主要路線を対象に実施した空洞調査の対象外であったが、覚知後は速やかに復旧工事を実施した。来年度も主要路線の空洞調査の実施を検討しているほか、引き続きパトロールや市民からの通報等により道路状況の把握に努め、適切な維持管理に取り組む。

デジタル化に伴う
「考える力」の育成を
桜庭 節子（みらい）





図書館に来館が困難な方々への支援を



市政運営に対する市長の基本姿勢は



保倉川放水路早期着工への取組は



Q 市立図書館の利用や来館が困難な方々に対する支援にどのように取り組んでいるのか。

A 市立図書館から遠距離にお住まいの方を対象に、公民館図書室を通じた予約本の受取や返却の受付を行っている。目に障害のある方や活字による読書が困難な方には、郵便局の制度を活用し、点字図書や本の朗読を録音した録音図書の貸出し・返却サービスを無料で行っている。来館が困難な方などに対しても、電子書籍の導入の検討を始めている。

Q 来館が困難な方を対象に「図書宅配サービス」を導入すべきと考えるがどうか。

A 導入には課題も多いが、支援のひとつの手段として研究していく。

Q 来館が困難な方に図書資料を届けることは図書館法の理念に適う。文科省が示した「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」にも宅配サービスが明記された。障害者差別解消法に基づく「合理的配慮」にも該当し、日本図書館協会のガイドラインにも合理的配慮の一例として示されている。また、福祉との連携により高齢者の健やかな暮らしにも資するのではないか。

A 読書に親しみ心豊かに生活を送ってほしいという願いを持っている。読書バリアフリーにより良い読書サービスを今後も検討していく。

Q 日常的な除雪に対する高齢者世帯の支援は
橋本 洋一（久比岐野）




Q 人口減少と高齢化が急速に進む中につれて、高齢者にとっては毎朝、毎晩の日常的な除雪が大きな負担になっている。除雪に対する高齢者世帯の支援の考え方について聞きたい。

A 除雪作業は高齢者にとって身体的負担が大きく、体調を崩す要因や転倒によるケガのリスクも高まるところから、自助を基本としつつも共助・公助を組み合わせて負担の軽減を図る必要があると考えている。市では、現在、自力での除雪が困難な世帯を対象に屋根や玄関前の除雪費用を助成する制度を実施しており、民生委員・児童委員の協力を得て申請の支援を行っているのをはじめ、降雪時には見守りや声掛けを行い、除雪についても近所の方から作業をしてもらうなど地域の支え合いの中で除雪に対する高齢者の支援に取り組んでいる。また、道路雪を実施する業者に対しては、要援護世帯の敷地に接する道路の除雪に際して雪の取り残しがないよう特段の配慮をお願いしている。市としては高齢者世帯の日常的な除雪作業について、自助・共助・公助が互いに連携・補完し合い、バランスよく機能することが大切であると考えており、いざという時の助け合いが円滑に進むよう共助に関する支援の取組を進めていく。

Q 津波避難タワーを整備できないか
江口 修一（久比岐野）




Q 直江津地区に小型で簡易的な津波避難タワーを整備する考えはないか。

A 上越沖にあるF41断層の活動周期は低頻度であり、津波避難タワーの早急な整備による効果は非常に限定的なため難しい。

（千葉県匝瑳市）

Q デジタル技術を活用し業務の効率化を行なう
市職員業務のDX化に対する考え方はどうか。

A デジタル技術を活用した業務の効率化と職員のITリテラシーの向上など、職員の負担軽減と業務遂行能力の強化を前提としながら、市民の利便性にも配慮しつつ、システム導入の費用対効果を十分精査した上で、市業務のDX化に取り組む必要がある。

行政のDX化推進

5年後自治体職員の減少
業務量は変わらない人だけが減る
経験と勘からず、データに基づく政策形成
情報収集の圧倒的な高速化
多様な視点からの対策提示（福祉・災害）
DX人材の育成
強い者・賢い者が生き残るのではなく、変化に対応できた者が唯一生き残る

生成AIが政策形成を劇的に変える
デジタル技術を活用し業務の効率化を！

Q 教室に国旗を掲示して誇り喜び感謝を育む
渡邊 希（参政党）




Q 自分が生まれた国やまちに誇りを持つことは、自己肯定感の土台を形成する。世界一長い歴史を持つ我が国日本に生まれたこと、そして美しい故郷上越に住んでいることを誇りに思い、喜びを感じ、またこれまで日本や上越を護ってきた先人へ感謝の気持ちを持つ子供たちを育みたい。子供たちに国や市、学校の一員という所属感を与え自己肯定感を高めるために、小中学校の教室内に国旗等を掲示する考えはないか。

A 入学式などの節目の行事で国旗等を掲揚しているが、教室では授業に集中しやすいように学習に直接必要なものを中心に掲示している。

Q 校長判断で部活動を学校に残せるか？

A 部活動の地域展開が進められているが、地域によっては放課後に参加できる活動が限られ、また送迎等を要する場合も多い。教育の目的は人格の完成と心身の成長であり、部活動は学校教育活動の一部として実施されこそ、その教育的意義が保たれる。部活動の設置と運営の最終的な責任者は校長であるが、子供たちに放課後の居場所を保証し、人生の糧となる経験を保つため、平日の部活動を学校に残す判断を校長がする場合、その判断は尊重されるのか。学校ごとの具体的の対応については、最終的には校長の裁量に基づく判断となる。

A Q 市民一人ひとりに寄り添いながら、安心して心豊かに暮らせるまちづくりを進める。

A Q 国や県、市議会との連携をどう強めるか。は緊張関係を持ち、信頼し合える関係を築く。

A Q 子育て世帯などへの家計負担軽減、子どもセンター整備について、どう予算に反映するか。

A Q 取組の優先度を精査しつつ、不妊不育治療費助成や高等教育に係る通学、奨学金の返還支援の拡充を検討する。また、こどもセンターは、来年度中に1か所程度の設置を検討している。

Q 上越地域医療センター病院の早期改築を！

A Q 上越地域医療構想調整会議の議論が改築後のセンター病院の病床数に与える影響はどうか。

A Q 県立吉田病院が5階建て110床、事業費84億円の工期1年8か月で完成予定だが、センター病院建設の参考にすべきではないか。

A Q 事業費の縮減に向けて、医療機能に最適な建物構造・機器の整備等を検討する。

Q 人口減少が激しい中山間地域の振興策はどのように考えているか。例えば、13区にある廃校を活用し、好適環境水を使用した魚の養殖施設とするなど、中山間地域の活性化に向けた支援を行なう

A Q 上越市中山間地域振興基本条例の基本理念にのつとり、中山間地域の振興に関する施策を総合的かつ体系的に取り組んでいる。一例として挙げられた好適環境水による魚の養殖については、現在も研究が進められている状況から、まずは研究開発の動向と併せ、先行事例の状況を注視していく。



A Q 市長は市長選で保倉川放水路の早期着工を促進すると訴えていたが、具体的な取組について聞きたい。

A Q 市民の安全な暮らしを守り、当市の産業の持続的な発展を支えるためにも、地域の抜本的な治水対策である保倉川放水路の整備は、緊急かつ重要な課題と認識している。早期事業化を強く求めていく必要があると考えており、事業主体である国土交通省に対して放水路整備の早期事業化を要望した。引き続き、水害に強い豊かな地域づくりに向けて、取組を継続していく。

Q 保倉川放水路早期着工への取組は

関川 信之（つなぐ）




深刻化するクマや
イノシシの被害対策は

宮崎
朋子
(つなぐ)



謙信公由来で高田の再開発を
牧井 邦生 (みらい)



Q 出没頻度の高い河川の藪の刈り払いについて、どのように取り組んでいくのか。
A 環境省の調査では、特に滝寺周辺の河川敷と五智公園北側エリアの藪の刈り払いが推奨され、滝寺周辺の河川敷は令和7年11月に県が実施した。五智公園北側は市で検討している。

Q 分野横断的な部署の設置を望むがどうか。
A 不断の見直しの中で適時適切に検討したい。

Q 市長公約で掲げるトイレ整備の方向性は
A バリアフリー、美しく快適なトイレ整備の方向性を聞きたい。

Q 観光客など、不特定多数の利用者が想定される公共トイレを対象に、優先順位を定めた上で、清潔さや明るさ、バリアフリーや女性の使いやすさなどの観点も含め、誰もが気持ちよく利用することができる環境の整備を進めたい。

Q 観光客など、不特定多数の利用者が想定される公共トイレを対象に、優先順位を定めた上で、清潔さや明るさ、バリアフリーや女性の使いやすさなどの観点も含め、誰もが気持ちよく利用することができる環境の整備を進めたい。

Q 環境美化活動の取組は
A 環境美化条例の制定やアダプトプログラム、成果を可視化できるゴミ拾いアプリ等の導入はまちの価値向上に有効と考えるがどうか。
Q 同趣旨の条例や取組があるため考えていない。条例制定とアダプトプログラムは、すでにアドバイスなどICTの活用は、全市クリーン作戦や団体の活動の際に情報提供したい。

物価高騰の中、紙おむつの購入は経済的な負担となっている。市の紙おむつ給付事業は課税世帯や入院中は対象外である。一方で紙おむつが余り、どこに寄付してよいか分からずに廃棄してしまう家庭もあると聞く。行政が主導し、必要な時に必要な人が紙おむつを利用できるよう仕組みをつくれないか。



Q 出番と活躍の場で支え合いのまちづくりを!
A ケアマネジャー等を通じ現場の声を聞く中で、そのようなニーズがある事を把握している。費用対効果や課題等を整理して調査研究する。

Q 近年、当市では高齢者の居場所や交流する機会が増えている。一方で人手不足の施設や独居でお困りの人も増えており、地域の支え合いの仕組みが必要と考えるがどうか。

Q 居場所、出番、活躍の場という支え合いのまちづくりを目指す。

Q 今後、高齢者が有償で活躍できる場が必要となる。有償ボランティア制度等を広報や高齢者の居場所などで周知啓発すべきではないか。

Q 周知啓発を行うとともに、有償の事業としてシルバー人材センター等の紹介も行っていく。



Q 「脳脊髄液減少症」の現状は
A 市内の医療機関から市へ、当該疾患に関する情報提供や相談は行われているのか。医療機関からの情報提供や、患者やご家族からの相談は寄せられていないが、相談等があれば市内の関係課や関係機関と連携して、不安の軽減や必要な支援を行っていく。

Q 患者やその家族が安心して相談を受けられる体制整備と市民への啓発が必要と考えるが、どのように取り組むのか。

Q 疾患の内容や診療可能な医療機関の一覧を市のホームページに掲載し、周知・啓発に取り組む。



原発再稼働の安全性と
市民理解の方法は
伊崎 博幸 (参政党)



Q 当市では未熟児養育医療給付制度により、入院費や医療費、入院中のミルク代に対する支援はあるが、入院中のおむつは自己負担であることから、入院中のおむつ購入費を助成する考えがあるか聞きたく。
A 現時点において、おむつ購入費の助成を行う考えはないが、保護者の気持ちに寄り添いながら支援に努めていく。

Q 低出生体重児のおむつ購入支援を



Q 当市では未熟児養育医療給付制度により、入院費や医療費、入院中のミルク代に対する支援はあるが、入院中のおむつは自己負担であることから、入院中のおむつ購入費を助成する考えがあるか聞きたく。
A 現時点において、おむつ購入費の助成を行う考えはないが、保護者の気持ちに寄り添いながら支援に努めていく。

原発再稼働の安全性と
市民理解の方法は
伊崎 博幸 (参政党)



Q 1-PCCは気候変動の要因は温室効果ガス以外にもあると発表しており、アメリカ、欧州をはじめ、世界の動きは脱炭素に対して懐疑的であることから、当市の第2次地球温暖化対策実行計画の見直しを検討してはどうか。
A 国の法令と方針に基づき、責務として地球温暖化対策計画を策定し、目標達成に向けて取組を進める。

Q 近年、豪雨や台風、地震などの自然災害が頻発しているが、気象災害の予測と対応に特化した「気象防災アドバイザー」設置の必要性をどのように考えているか。また、気象庁と連携し、設置や育成を進める予定はあるか。



Q 原子力災害と豪雪や地震が同時に起きる複合災害時において、対策は万全か。
A 万全ではないが、複合災害発生時の安全体制の確保、原子力防災対策に関する理解を深めるための住民への説明、避難路の整備などを、県に強く要望している。

Q 住民の不安をどのように解消するのか。
A 原発再稼働にあたる不安の内容把握に努める中で、継続した住民への説明が必要であることを確認したことから、原子力防災体制の強化について、県から国に働きかけるよう求めた。

Q 1-PCCの委員である杉山大志氏の報告書では、日本が脱炭素を達成しても気温は約0.006度しか下がらないとされているが、脱炭素を進めるメリットは何か。

Q 豪雪、猛暑、水不足、農作物被害などが発生しているため、対策は重要と認識している。

13区の地域振興と 活力向上に向けて

ストラットン恵美子(久比岐野)



- Q** 上越市創造行政研究所が進める持続可能な地区別まちづくりの支援の位置付けはどうか。
- A** 住民自らが地域の現状や課題を共有し、将来像等を話し合うワークショップを開催するといった伴走型支援を実施してきた。今後は先行区の取組を展開し、全市的な取組に繋げたい。
- Q** 総合事務所・地域協議会・まちづくり振興会等の連携の在り方をどう考えているか。
- A** 町内会や住民組織等の各種団体には高齢化など様々な課題があるが、地域コミュニティの維持や魅力・活力向上のため、より一層連携を深め、地域が一体となってまちづくりができるよう各種団体の在り方や支援策を考えていく。
- Q** 地域独自の予算事業の評価と今後の方向性を聞きたい。
- A** 多様な取組を実現してきたが、複数の課題も認識しており、様々な角度で検証していく。
- Q** 高齢者や学生のための公共交通の充実をどう考えているか。
- A** 地域ごとに異なるニーズを的確に把握し、地域の声を聴きながら、公共交通のネットワークの維持と利便性の向上に取り組む。
- Q** 観光振興の方向性をどう考えているか。
- A** 地域特有の文化や背景にある物語を発信し、合併前上越市と13区を区別することなく観光振興に取り組む。



Q 廃校備品を地域資源に

降旗 太地(久比岐野)

Q 廃校に残された机や椅子、楽器などの備品には、まだ使用可能なものが多く、統廃合が進む中、こうした備品が使われないまま保管・廃棄されることを「もったいない」と感じる市民の声がある。現在の管理方法と活用状況、今後の再活用や譲渡に対する考え方を聞きたい。

A 廃校備品を台帳と写真で管理し、まずは他校での活用を優先している。一定期間活用されない場合は公共施設への転用を行っており、条例や規則に基づき適切に管理している。なお、貸付や譲渡の明確な基準は定めておらず、状況に応じて判断している。今後も教育現場での活用を基本としつつ、適切な管理に努める。

こどもセンターの人材と地域連携

- Q** 市長公約のこどもセンター設置は、施設整備だけでなく、人材や地域との連携が重要と考える。運営体制や市民活動団体、地域クラブとの関わり方を聞きたい。
- A** 子どもの遊びや子育て相談、世代間交流の場として整備する。運営は住民組織などの団体の参画を想定しており、市民活動団体や地域クラブとの協働については、具体的な活動内容を定めていく中で検討の参考とする。

Q 知事の原発再稼働容認の見解と安全確保

山本 佳洋(市民クラブ)

Q 知事の判断を尊重するとしたが、前市長の慎重な姿勢を変更したものと認識してよいか。

A 市の考え方は、国のエネルギー政策を考慮し、安全性の確保を大前提に原発の活用はやむを得ないとする見解で、従前から変更はない。

Q 県の被ばく線量シミュレーションは、安全対策が機能した場合を想定したものが、「新たな安全神話」につながる懸念はないのか。

A このシミュレーションは福島第一原発事故を踏まえ、原子力規制委員会が策定した安全対策が機能した場合を前提に、放射線の影響の範囲を予測したものであり、事態の想定の適否や示された見解は専門的知見に基づくため、知見を持たない市が評価することはできない。

Q 県民意識調査では、市民の過半数が再稼働や東京電力への信頼性に否定的である。知事との意見交換でどのような意見を伝えたか。

A 避難計画に関する理解促進と原子力防災体制の充実・強化及び原発の安全審査と電力事業者の監視の徹底を強く求めた。

Q 知事の判断を尊重するだけでなく、市民の不安の声などに対し明確な立場を示すべきでは、知事に求めた避難計画の理解促進などは、再稼働の前提となる確認事項に含まれており、声を軽視していない。今後も市民の声に対応する。

Q 廃校備品を地域資源に

降旗 太地(久比岐野)

Q 廃校に残された机や椅子、楽器などの備品には、まだ使用可能なものが多く、統廃合が進む中、こうした備品が使われないまま保管・廃棄されることを「もったいない」と感じる市民の声がある。現在の管理方法と活用状況、今後の再活用や譲渡に対する考え方を聞きたい。

A 廃校備品を台帳と写真で管理し、まずは他校での活用を優先している。一定期間活用されない場合は公共施設への転用を行っており、条例や規則に基づき適切に管理している。なお、貸付や譲渡の明確な基準は定めておらず、状況に応じて判断している。今後も教育現場での活用を基本としつつ、適切な管理に努める。

13区の地域振興と 活力向上に向けて

物価高騰・経済対策の 方向性を質す

熊倉 隆将(市民クラブ)



- Q** 物価高騰が長期化しているが、市の支援に対する考え方はどうか。

- A** 物価高騰による影響を強く受ける方々をしっかりと支えていく考え方である。

- Q** 子育て世帯や年金収入に依存する高齢者、事業者への対策を検討するべきとを考えるが、重点支援地方交付金はどのように活用するのか。

- A** 地域の実情に応じ、自治体で判断することになるが、子育て世帯や事業者等の支援を含め、有効な対策を検討している。

- Q** 国の総合経済対策と合わせて市独自の支援策を行うことが効果的と考えるがどうか。

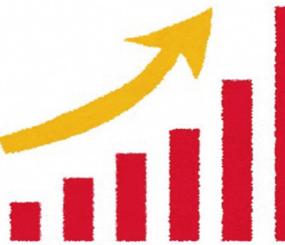
- A** 国から示される交付金の規模や支援の内容を踏まえ、有効な対策を検討している。可能なものは年度内に実施、または着手していきたい。

- Q** 市独自の支援を行うにあたり、財源確保をどのように考えているのか。必要に応じて市の貯金である財政調整基金を取り崩すことも検討しているのか。

- A** 財政調整基金の取り崩しも含め、国の補助金や起債など、財源構成の最適化を総合的に判断する。

- Q** 原発再稼働に係る知事の判断を市長はやむを得ないと容認したが、どのような考え方からか。
- A** 国のエネルギー政策の方向性や前提となるエネルギー事情を考慮すると、安全性の確保を大前提にやむを得ないと判断したものである。

- Q** 県の県民意識調査や新潟日報社の知事の再稼働容認に対する賛否意見、UPZ圏市町村議員へのアンケートでも「再稼働すべきではない」が過半数である。当市の議員も全員が回答し、「すべき」を上回っているが、どうか。



- A** 知事は様々な手法で県民の多様な考えを把握しており、時間かけて慎重に検討した上での判断と認識している。知事が国に求めた避難路の整備を含めた防災体制の充実・強化等の7項目に、市が要望した内容が入っているので、判断を尊重したものである。

- Q** 国への7項目の申し入れは、いずれも不確かな要望事項に過ぎない。不確かな要望事項をもって「安心」が確保されたということにはならない。安全な避難路ということについても、東日本大震災や能登半島地震の経験、複合災害や事業者としての資質からも、市民は「安全」だとは思っていない。再稼働の判断には県民投票を行うよう、知事に求めるべきではないか。

- A** 市として申し上げることはない。

Q 手つかずの観光資源、上越独自の観光とは?

小林 和孝(市民クラブ)

Q 市長は、手つかずの観光資源を磨き上げ、上越独自の観光を開拓するとしているが、具体的にどのようなものか。

A 上越市には、雪、花、山、川、海、そして歴史や美味しい食、温かな人情等、日本の美しさと魅力が凝縮していると感じる。「手つかずの観光資源」や「独自の観光」と表現したのは、当市の様々な魅力が市外の方々に十分に伝わっていないと感じていたからである。これから観光には、身近な資源をそこに息づく歴史や時の流れと重ね合わせ、关心と共感を呼び込むような当市ならではの物語として発信していくことが大切であると考えている。

Q 手つかずの観光資源、上越独自の観光とは?

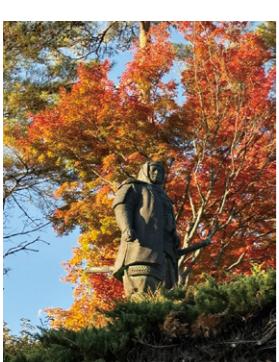
小林 和孝(市民クラブ)

Q 市長は、手つかずの観光資源を磨き上げ、上越独自の観光を開拓するとしているが、具体的にどのようなものか。

A 上越市には、雪、花、山、川、海、そして歴史や美味しい食、温かな人情等、日本の美しさと魅力が凝縮していると感じる。「手つかずの観光資源」や「独自の観光」と表現したのは、当市の様々な魅力が市外の方々に十分に伝わっていないと感じていたからである。これから観光には、身近な資源をそこに息づく歴史や時の流れと重ね合わせ、关心と共感を呼び込むような当市ならではの物語として発信していくことが大切であると考えている。

謙信公生誕500年に向けた取組を!

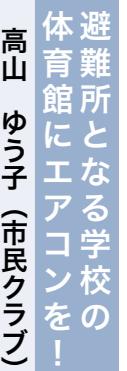
- Q** 謙信公生誕500年などの節目は、地域資源の磨き上げや上越市民としての誇りを醸成するためには逃してはならない機会であるが、どのように考えているか。
- A** 上杉謙信公の節目にに関する取組は、令和8年度の予算編成の中で、関係部局と協議を行いながら方針を検討していく



原発再稼働では 県民投票を求めよ!

上野 公悦(日本共産党議員団)







議会を傍聴しませんか

令和8年3月定例会（予定）

日	月	火	水	木	金	土
					2/27 本会議（総括質疑）	28
3/1	2 本会議（総括質疑）	3 厚生常任委員会	4 厚生常任委員会	5 農政建設常任委員会	6 農政建設常任委員会	7
8	9 文教経済常任委員会	10 文教経済常任委員会	11 総務常任委員会	12 総務常任委員会	13	14
15	16 本会議（一般質問）	17 本会議（一般質問）	18 本会議（一般質問）	19 本会議（一般質問）	20 春分の日	21
22	23	24 本会議（採決）	25	26	27	28

《 上越市議会議員補欠選挙の結果のお知らせ 》

議員3名の辞職に伴い実施された上越市議会議員補欠選挙で、次の3名が当選しました。



氏名：渡邊 希
議席番号：1番
常任委員会：総務
特別委員会：観光振興対策
会派：参政党



氏名：中土井 かおる
議席番号：13番
常任委員会：厚生
特別委員会：災害対策
会派：市民クラブ



氏名：宮川 大樹
議席番号：19番
常任委員会：文教経済
特別委員会：観光振興対策(委員長)
会派：無所属

広報広聴委員会										編集後記
委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	
渡邊	上野	小林	関川	山本	西沢	降旗	渡邊	ストラットン	ス	令和7年は、喜びも課題も併せ持つ、さまざまな出来事が交錯した一年となりました。新市長を迎え、市政の新たな歩みが始まっています。新年度からいよいよ議会改革の取組も本格化します。今年も市民の皆さまのウェルビーイングに寄与できるよう、議会一丸となって努めてまいります。
隆	公	和	信	佳	智	太	希	節子	ラツ	美子
悦	悦	孝	之	洋	子	太	希	惠美子	ト	議会一丸となって努めてまいります。
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5